



2023年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月8日

上場会社名 株式会社ファンコミュニケーションズ
コード番号 2461 URL <https://www.fancs.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳澤 安慶
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長 (氏名) 杉山 紳一郎

TEL 03-5766-3530

四半期報告書提出予定日 2023年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	3,764	1.8	1,138	9.7	1,149	11.6	602	30.8
2022年12月期第2四半期	3,834		1,260	1.0	1,299	9.7	871	10.0

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 649百万円 (26.6%) 2022年12月期第2四半期 885百万円 (1.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	9.10	
2022年12月期第2四半期	12.47	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第2四半期	23,021	17,250	74.6	259.16
2022年12月期	23,855	17,953	74.9	269.58

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 17,169百万円 2022年12月期 17,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		0.00		19.00	19.00
2023年12月期		0.00			
2023年12月期(予想)				19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,600	1.8	2,100	12.8	2,120	13.4	1,240	19.2	18.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	76,930,032 株	2022年12月期	76,930,032 株
期末自己株式数	2023年12月期2Q	10,681,601 株	2022年12月期	10,619,801 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	66,251,054 株	2022年12月期2Q	69,931,755 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想数値に関する事項は添付資料の4ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の対策が進み経済活動の制限が緩和され、緩やかに持ち直しの動きが見られたものの、ロシアによるウクライナ侵攻などの地政学的リスクや世界的な金融引き締めが続く中、海外景気の下振れや為替の変動など、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループの主要事業であるインターネットマーケティングサービス分野では、消費者のデジタルシフトが進み、コロナ禍を契機とした社会や働き方の多様化、デジタル施策への取り組みが加速する中、インターネット広告は、大手プラットフォームによるSNS広告や動画広告を中心に需要が継続しております。一方、インターネット広告がマスメディアとしての役割を果たす中、大手プラットフォームによる新たな広告効果測定モデルが出現するなど個人情報保護を意識した環境へと変化しております。

当第2四半期連結累計期間において当社グループは、経営ビジョンである「プロシューマー・ハピネス」を推進するべく既存事業の再成長、新規事業の企画・開発、生産性向上に向けた取り組みに注力しております。

また、当第2四半期連結会計期間において、非連結子会社のmint株式会社を連結子会社とする意思決定を行いました。今後当社グループが展開するファンマーケティング領域の新規サービスに活用可能な開発エンジンの提供やmint株式会社内での新規事業の展開などを通じて当社グループにおける質的な重要性が増すと判断いたしました。

しかしながら、新規事業計画を元に将来キャッシュ・フローの見積もりを行った結果、のれんの回収は困難であると判断したため、減損損失を計上することといたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,764,521千円(前年同四半期比98.2%)となりました。また、営業利益は1,138,125千円(前年同四半期比90.3%)、経常利益は1,149,130千円(前年同四半期比88.4%)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別損失に關係会社株式評価損及び減損損失を計上したことなどにより602,987千円(前年同四半期比69.2%)となりました。

① CPAソリューション事業

CPAソリューション事業は、主力サービスでありますアフィリエイト広告サービス「A8.net」、スマートフォンアプリ向けCPI広告サービス「seedApp」等を提供しております。当第2四半期連結累計期間においては、A8.netは新規広告主の獲得に注力し稼働広告主数が伸長し売上高が増加しましたが、メディアの掲載面の確保などにより利益率が低下いたしました。また、定期継続購入のすべてに成果報酬が設定できる「継続型アフィリエイト機能」をリリースいたしました。一方、seedAppはゲームカテゴリの鈍化を受け売上高が減少いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,058,923千円(前年同四半期比101.3%)、セグメント利益は1,773,452千円(前年同四半期比97.2%)となりました。

② ADコミュニケーション事業

ADコミュニケーション事業は、主力サービスでありますスマートフォン向け運用型広告サービス「nend」等を提供しております。当第2四半期連結累計期間においては、nendにおいてはプライバシー問題に準拠したApple社が提供する「SKAdNetwork」への対応に注力したほか、固定費の削減に努めましたが、nendの稼働広告主数の減少及び特定広告主の売上が減少したことなどにより減収となりました。一方、お笑いラジオアプリ「GERA」など新規事業の企画・開発投資を拡大しております。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は540,582千円(前年同四半期比91.5%)、セグメント損失は151,368千円(前年同四半期はセグメント損失96,779千円)となりました。

③ その他

その他事業は、シーサー株式会社が運営する「Seesaaブログ(シーサーブログ)」を代表とするメディア事業等を展開しております。当第2四半期連結累計期間においては、ブログメディア事業においてPV減少に伴い広告収入が減少したことなどにより減収となりました。また、新規事業投資において、オンラインサロンプラットフォーム「yoor」にリソースを集中させております。一方、コスト面においては前期ソフトウェアの減損処理を実施したことからソフトウェアの減価償却費が縮小しております。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は165,015千円(前年同四半期比73.1%)、セグメント損失は57,720千円(前年同四半期はセグメント損失37,073千円)となりました。

○ 報告セグメント別の売上高の内訳

セグメントの名称	2022年12月期第2四半期		2023年12月期第2四半期		2022年12月期	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
CPAソリューション事業	3,018,544	78.7	3,058,923	81.2	6,029,461	77.9
ADコミュニケーション事業	590,709	15.4	540,582	14.4	1,250,461	16.2
その他	225,657	5.9	165,015	4.4	457,605	5.9
総売上高	3,834,912	100.0	3,764,521	100.0	7,737,529	100.0

なお、主力サービスであるアフィリエイト広告サービスにおける当第2四半期連結会計期間末の利用広告主数(稼働広告主ID数)、参加メディア数(登録パートナーサイト数等)は、下記のとおりであります。

サービス	区分	2023年12月期 第2四半期末	2022年12月期末
「A8.net(エーハチネット)」	稼働広告主ID数	3,364	3,328
	登録パートナーサイト数	3,304,106	3,206,592
「nend(ネンド)」	稼働広告主ID数	93	119
	登録パートナーサイト数	1,132,232	1,071,327

(2) 財政状態に関する説明

① 総資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ833,192千円減少し、23,021,961千円となりました。主な要因としましては、投資有価証券が1,993,428千円(前連結会計年度末は1,862,828千円)と130,599千円増加した一方、売掛金が3,019,991千円(前連結会計年度末は3,234,869千円)と214,878千円減少したこと及び現金及び預金が16,770,850千円(前連結会計年度末は16,982,969千円)と212,119千円減少したことによるものであります。

(負債)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末に比べ129,863千円減少し、5,771,510千円となりました。主な要因としましては、買掛金が4,555,492千円(前連結会計年度末は4,458,211千円)と97,281千円増加した一方、その他流動負債が683,053千円(前連結会計年度末は806,421千円)と123,368千円減少したこと及び未払法人税等が387,767千円(前連結会計年度末は485,881千円)と98,114千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末に比べ703,328千円減少し、17,250,451千円となりました。主な要因としましては、親会社株主に帰属する四半期純利益を602,987千円計上した一方、配当金の支払いにより1,259,894千円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から284,891千円減少し16,771,834千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、1,058,210千円の収入(前年同四半期は1,689,605千円の収入)となりました。これは、主に法人税等の支払額が426,290千円であった一方、税金等調整前四半期純利益を949,954千円計上したこと及び売上債権の増減額が218,567千円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、60,718千円の支出(前年同四半期は686,465千円の支出)となりました。これは、主に投資有価証券の償還による収入が100,000千円であった一方、投資有価証券の取得による支出が96,895千円及び無形固定資産の取得による支出が56,072千円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、1,315,747千円の支出(前年同四半期は2,346,039千円の支出)となりました。これは、配当金の支払額が1,258,312千円であったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月2日に公表しました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,982,969	16,770,850
売掛金	3,234,869	3,019,991
有価証券	299,740	200,100
その他	495,636	288,737
貸倒引当金	△37,140	△20,378
流動資産合計	20,976,075	20,259,301
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	57,561	54,294
工具、器具及び備品(純額)	42,511	35,437
有形固定資産合計	100,072	89,731
無形固定資産		
その他	331,091	354,284
無形固定資産合計	331,091	354,284
投資その他の資産		
投資有価証券	1,862,828	1,993,428
その他	601,281	326,548
貸倒引当金	△16,195	△1,332
投資その他の資産合計	2,447,914	2,318,644
固定資産合計	2,879,078	2,762,660
資産合計	23,855,153	23,021,961

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,458,211	4,555,492
未払法人税等	485,881	387,767
賞与引当金	13,659	9,349
その他	806,421	683,053
流動負債合計	5,764,173	5,635,662
固定負債		
その他	137,200	135,847
固定負債合計	137,200	135,847
負債合計	5,901,374	5,771,510
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,173,673	1,173,673
資本剰余金	278,373	278,373
利益剰余金	21,150,503	20,422,088
自己株式	△4,754,180	△4,779,246
株主資本合計	17,848,369	17,094,888
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,356	74,322
その他の包括利益累計額合計	27,356	74,322
新株予約権	78,053	81,239
純資産合計	17,953,779	17,250,451
負債純資産合計	23,855,153	23,021,961

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,834,912	3,764,521
売上原価	815,087	738,052
売上総利益	3,019,824	3,026,469
販売費及び一般管理費	1,759,656	1,888,343
営業利益	1,260,167	1,138,125
営業外収益		
受取利息	1,987	4,508
受取配当金	4,800	3,500
投資有価証券売却益	-	13,693
為替差益	61,286	18,635
その他	2,818	2,275
営業外収益合計	70,892	42,613
営業外費用		
投資事業組合運用損	29,838	31,559
その他	1,804	49
営業外費用合計	31,643	31,608
経常利益	1,299,417	1,149,130
特別利益		
固定資産売却益	368	27
特別利益合計	368	27
特別損失		
減損損失	332	59,773
投資有価証券評価損	12,999	-
関係会社株式評価損	-	109,999
関係会社支援損	-	20,000
その他	3	9,429
特別損失合計	13,335	199,202
税金等調整前四半期純利益	1,286,449	949,954
法人税、住民税及び事業税	422,698	357,738
法人税等調整額	△8,239	△10,771
法人税等合計	414,459	346,967
四半期純利益	871,990	602,987
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	871,990	602,987

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	871,990	602,987
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,100	46,966
その他の包括利益合計	13,100	46,966
四半期包括利益	885,091	649,953
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	885,091	649,953
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,286,449	949,954
株式報酬費用	4,025	3,186
減価償却費	65,664	52,466
のれん償却額	-	7,471
減損損失	332	59,773
投資有価証券評価損益(△は益)	12,999	-
関係会社株式評価損	-	109,999
関係会社支援損	-	20,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,299	△4,309
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,174	△31,624
受取利息及び受取配当金	△6,788	△8,008
為替差損益(△は益)	△54,440	△12,361
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△13,693
投資事業組合運用損益(△は益)	29,838	31,559
固定資産売却損益(△は益)	△368	△27
売上債権の増減額(△は増加)	△317,531	218,567
仕入債務の増減額(△は減少)	590,182	97,281
未払消費税等の増減額(△は減少)	114,678	76,003
その他	250,027	△79,207
小計	1,979,195	1,477,032
利息及び配当金の受取額	5,428	7,467
法人税等の支払額	△295,018	△426,290
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,689,605	1,058,210
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,881	△3,191
有形固定資産の売却による収入	368	27
無形固定資産の取得による支出	△36,570	△56,072
投資有価証券の取得による支出	△636,611	△96,895
投資有価証券の償還による収入	125,000	100,000
投資有価証券の売却による収入	-	13,693
関係会社株式の取得による支出	△110,000	-
投資事業組合からの分配による収入	15,050	1,719
敷金及び保証金の差入による支出	△9,179	-
敷金及び保証金の回収による収入	77	-
その他	△23,719	△19,999
投資活動によるキャッシュ・フロー	△686,465	△60,718
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1,001,780	△25,110
配当金の支払額	△1,344,259	△1,258,312
その他	-	△32,324
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,346,039	△1,315,747
現金及び現金同等物に係る換算差額	54,440	12,361
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,288,459	△305,894
現金及び現金同等物の期首残高	19,362,918	17,056,725
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	-	21,003
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,074,459	16,771,834

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年1月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	CPAソリューション事業	ADコミュニケーション事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益(注) 4	3,018,544	590,709	3,609,254	225,657	3,834,912	—	3,834,912
外部顧客への売上 高	3,018,544	590,709	3,609,254	225,657	3,834,912	—	3,834,912
セグメント間の内部 売上高又は振替高	151,937	—	151,937	38,337	190,275	△190,275	—
計	3,170,482	590,709	3,761,192	263,995	4,025,187	△190,275	3,834,912
セグメント利益又は損 失(△)	1,825,457	△96,779	1,728,678	△37,073	1,691,604	△431,436	1,260,167

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2023年1月1日 至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	CPAソリューション事業	ADコミュニケーション事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益(注) 4	3,058,923	540,582	3,599,506	165,015	3,764,521	—	3,764,521
外部顧客への売上高	3,058,923	540,582	3,599,506	165,015	3,764,521	—	3,764,521
セグメント間の内部売上高又は振替高	124,252	459	124,711	36,573	161,285	△161,285	—
計	3,183,175	541,042	3,724,217	201,589	3,925,806	△161,285	3,764,521
セグメント利益又は損失(△)	1,773,452	△151,368	1,622,084	△57,720	1,564,363	△426,238	1,138,125

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ADコミュニケーション事業」において、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めたmint株式会社に関連するのれんについて、のれんの未償却残高59,773千円を減損損失として特別損失に計上いたしました。